

- 転倒まず型雨量計と自記電接计数器（記録計）のセットです。
- 転倒まず型雨量計を屋外に設置し、自記電接计数器（記録計）を室内に置いて測定します。
- 時間雨量の測定による現場の地盤崩壊等の災害予知、現場状態管理に使用できます。

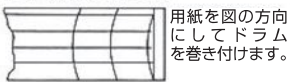
本体



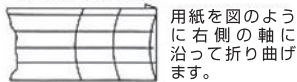
記録用紙の交換

- ① 自記円筒時計を取り外し、用紙押さえを外します。
- ② 時計ドラムに用紙をたるみのないように巻付けます。
 （用紙にたるみが出る場合は用紙押さえを内側に少し曲げます）
- ③ 用紙押さえを取り付けます。（1日・7日用と31日用の用紙では取付方が違うのでご注意ください）

■ 図1 用紙：1日・7日の場合



■ 図2 用紙：31日の場合



用紙の上から、用紙押さえを取付けて緩まないようにロックします。



ドラムに用紙を巻き付けて折り目の中に用紙押さえを入れて差込み、緩まないようにロックします。



取付状態



取付状態

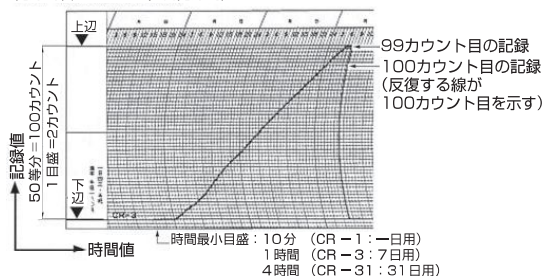
呼称	転倒まず型雨量計／自記電接计数器
メーカー	大田計器製作所
型式	34-T
気象庁型式証明	第92506号
口径φ	200mm ± 0.6
感度	一転倒雨量 0.5mm
出力信号	リードスイッチによるメーク接点出力
接点容量	3VA (30V 200mA max) 自記電接计数器と接続の場合 / DC3V・100mA max
接点作動時間	0.1~0.2秒 ます左右の作動時間差 / 0.05秒
測定範囲	最大降雨強度：150mm/h 以下
測定精度	20mm/h まで：±0.5mm、20mm/h 超過：±3%以内
受感部	黄銅クロムメッキ転倒まず
スイッチ	リードスイッチ (接点時間 0.1~0.15秒)
検定	気象庁検定
表面仕上	ステンレス SUS304 表面ヘアークライン(シルバー)仕上げ
付属ケーブル	0.5mm ² × 2C VCTF 10m
寸 外径φ	209mm
法 全高 H	450mm
質量	約 2.2kg
測定範囲	0~100パルス 反復記録 1パルス記録最小目盛りの1/2
電源	単1形アルカリ乾電池×2本 または DC6V 外部電源
連続使用時間	約3ヶ月~約1年(使用状況によります)。
ケーブル長	標準 10m
記録ペン	7日記録で約1年間連続使用可能
円筒時計	1日/7日/31日兼用(スイッチ切替選択)
時間精度	① 1日用：1日につき±4分以内、② 7日用：7日につき±35分以内
記録用紙記号	① 1日用：Cat. No CR-1 ② 7日用：Cat. No CR-3 ③ 31日用：Cat. No CR-31
記録紙用紙目盛	記録：50分割目盛り(記録ペン：1カウント毎、半目盛り移動) ① 1日用：1目盛り/10分 ② 7日用：1目盛り/1時間 ③ 31日用：1目盛り/4時間
記録紙送り速度	① 1回転 1日用の周速度：1時間当たり 12mm ② 1回転 7日用の周速度：1時間当たり 43.5mm ③ 1回転 31日用の周速度：1時間当たり 10.26mm
円筒時計電源	単3形アルカリ乾電池×2本
連続使用時間	約6ヶ月(1日用)、約9ヶ月(7日用・31日用)
外装処理	メラミン焼付塗装：マンセル値 1.3Y6 / 1.2近似
寸法	全幅 W 341mm 奥行 D 138mm 全高 H 236mm
質量	約 4.2kg

記録の読み方

目盛りの読み方

記録用紙は横軸に時間値を、縦軸に雨量などの記録値をそれぞれ示します。(図1参照) 時間値(横軸)は、左から右方向に移動します。最小目盛は使用する記録用紙の種類により、10分(CR-1：1日用)、1時間(CR-3：7日用)、4時間(CR-31：31日用)となります。記録値(縦軸)は、下辺がゼロ点となり上方向に1/2目盛ずつ移動して記録しますので、1目盛は2カウントとなります。縦軸の目盛は50分割なのでフルスパンは100カウントとなります。

■ 図1 記録用紙：CR-3 (7日記録用)



記録の読み方

本計器は、雨量センサなどからのパルス信号を階段状に記録します。このパルス信号が1パルス入力する毎に1/2目盛ずつ記録ペンが移動します。(図2参照)

例えば、0.5mm転倒の雨量センサを接続した場合には、1パルス(0.5mm)の雨量信号を入力する毎に1/2目盛ずつ記録し100パルス目(50.0mm)に達すると記録ペンが一旦リセットされ、再びゼロ点より反復記録します。

この右上がりが増加する記録(雨量)値と時間経過を比較することで、降雨の強弱がわかります。

任意の単位時間内の積算値(時雨量や日雨量)を求めるには、その範囲時間内に記録されている記録値を合計して求めます。

■ 図2 雨量記録例

